

令和元年も残りあと1カ月、クリスマス、お正月など、お客様をご自宅にお迎えする事も多い季節になりました。そろそろ大掃除を始めている方も多いのではないのでしょうか？普段は手が届きにくい所もお掃除して、すっきり綺麗なうちでお客様や新年をお迎えしたいですね。

今月はキッチンや床材の大掃除、メンテナンスのポイントをご紹介します。

大掃除 キッチン編

大掃除のルーツは年末のニュースで流れてくる神社やお寺などで行われている“煤払い”ともいわれています。昔の家に囲炉裏やかまどがあった為、たまった煤をお正月前に払う事が、現在の大掃除につながっているとされています。大掃除の中でもキッチンは気合を入れて綺麗にしたいところの1つですね。普段は中々できないキッチンの細かなところのお掃除方法や

ワークトップ・シンク

ステンレス・人工大理石

柔らかい布やスポンジに食器洗いの中性洗剤を含ませて汚れを拭きます。しつこい汚れはクリームクレンザーを使用。洗剤が残らない様に拭き取ります。人工大理石にできる鍋の擦れた黒い跡（メタルマーク）は水を含ませたメラミンスポンジで擦って落とします。

スイージーのワークトップ、シンクで使っているステンレスはSUS304を採用。錆や汚れに強いステンレスです。



1カ所を集中して擦るとツヤが変わる事があるので注意。



引出し収納内部

ノンスリップマット



ノンスリップマットは取り外して水洗いできます。部分的な汚れは中性洗剤をつけて拭き取ってください。その後、空拭きして水気を拭き取ってください。まるごと洗えるからお掃除簡単で、清潔です。

引出しの中もすっきり清潔に

ステンレスの底板は引出し内を清潔に保てくれます。

調味料の出し入れをしやすい部分に敷いています。丸洗い可能。

底板ステンレス引出し



引き出しの汚れは中性洗剤をつけて、拭き取り、空拭きして水気を拭き取ります。底板のステンレスは錆びにくい金属ですが、塩素系洗剤や塩分を含む調味料が付着したまま放置するとサビの原因となります。

扉 無垢の木のキッチンスイージーの扉は本物の木の扉。固く絞ったふきんで水拭き。油とほこりなどが混ざって水拭きでは取りにくい場合は、台所用中性洗剤を水で薄めて油分を拭き取り後、水拭き、から拭きで汚れが取れます。塗料の塗り直し等は不要です。

木の扉はメンテナンスが必要？

特殊ウレタン塗装の効果で染み込みず、すると汚れが落とせます。



レンジフード

①整流板のお手入れ



お掃除時期目安：汚れたときに！

②フィルター、オイルバックを洗う



お掃除時期目安：1カ月に1回

*オイルバック：油溜め部分

③ファン、ベルマウス等を洗う



お掃除時期目安：1年に1回。

*ベルマウス：ファンの手前にあるリング状の網

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、拭き掃除。その後、洗剤が残らないように水で濡らせた布でよく拭き取ります。

表面の柔らかいスポンジで、フィルターの目に沿って洗います。汚れがひどい時はぬるま湯に洗剤を溶かしつけ置きした後、スポンジなどで洗って下さい。

台所用中性洗剤が使用できます。力を入れすぎるとフィルターが変形する可能性があるので注意。

②のフィルター同様、やわらかいスポンジで洗います。汚れがひどい時は洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置き洗いが効果的です。ファンを固定している金具やベルマウスも同様に洗います。

ファンの塗装が剥がれない様に中性洗剤と柔らかいスポンジでの

Let's Try!

大掃除 床材編

普段は掃除機を使ってお掃除しているものの、そろそろワックスかけた方がいいかな？どんなワックスを使ったらいいのかな？無垢の床材がへこんでしまったけど直せるのかな？など、分からない事がいっぱい。今年は思い切ってチャレンジしてみませんか？床材は商品によってお手入れの仕方が変わります。

無垢フローリングピノアース



一枚板の味わいがそのまま活きる浮造り仕上げの無垢フローリング。苗木から育てたニュージー

パイン®を贅沢に用いた、継ぎ目のない無垢一枚物のフローリングです。木目が美しく引き立つ浮造り仕上げを施し、木の質感を見た目でも素足でもお楽しみいただけます。

ワックスを塗ろう！

半年～1年に1回のお手入れ

①ワックスの選定

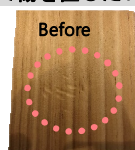
床にあった推奨ワックスを使用します。無垢フローリングピノアースレギュラー塗装の場合は下記の2つが使用できます。



←樹リンレイ製フローリング専用ワックスつやなし

樹リンレイ製 →

へこみ傷を直したい



うっかりできてしまったへこみ傷。水で濡れた布等で当て布をしてアイロンをかけるというメンテナンスも可能。へこみが戻りにくい場合は表面のウレタン塗装に切れ目を入れて蒸気を床材の内部に浸透させやすくする方法もあります。ただし濡れた布の置きっぱなしや蒸気の当て過ぎは変色、変形の恐れがある為、様子を見ながら少しずつ行うのがコツです。完全に元に戻す事は難しいですが、気にならない程度へ修復も可能です。

レギュラー塗装ラインナップ



日常のお手入れ



日常のお手入れは掃除機掛けや、から拭き。汚れがひどい場合は固く絞った雑巾で水拭きもできます。化学雑巾やスチームモップは変色等の恐れがあります。



②しっかり汚れおとし

天気の良い日を選んで床面のゴミ、ホコリ等を掃除機などでしっかり取り除き、水を含ませ、固く絞った雑巾で洗剤等をしっかり取り除きます。



③ワックスを塗ろう

水拭きした床が完全に乾いたら、きれいなウエス（柔らかい布）にワックスを含ませ木目に沿って薄くムラなく塗ります。重ね塗りの場合、前に塗ったワックスが乾いてから行ないます。薄く何回かに分けて塗るのがきれいに塗るポイントです。乾燥時間は季節や気温によって前後しますが約30分程度です。



“メンテナンスができるから長く使える”ところが無垢材の良い所の1つ。

その他、床材の詳しいメンテナンス方法、建具調整の方法がウッドワンのウェブサイトからご確認頂けます。

